

三田わくわく村の世界 パートIV

10月21日に三田わくわく村秋祭りを予定していましたが、新型コロナウイルス感染の影響により中止となり、各事業所単位で小規模に実施することになりました。



2022年秋 屋台屋さん

各担当者でみなさんが楽しめる計画を考えております。また、今年度も10月17日(月)～10月28日(金)の期間(9時～17時)有馬富士共生センターのギャラリーで展示させていただくことになりました。各事業所、心を込めて作品作りに励んでいただきましたので是非ご覧ください。(各事業所の展示作品の一部です。)



放課後等 デイサービス

スタンドグラスの木

紙コップアート



本町事業所

輪ゴムアート



志手原事業所

写真立て

段ボールロボット



すずかけ台事業所

花火

ジェルキャンドル

コケ玉

製菓品購入のお願い

今回は、大原製菓作業についてご紹介したいと思います。大原製菓は利用者3名職員1名で生産しています。作業中は集中して静かですが、休憩に入ると女子トークで大盛り上がり的大原製菓メンバーです。



マドレーヌの生地入れ

ここでは、主にマドレーヌ、焼きドーナツ、ココナッツクッキーの3種類を生産しています。

現在、焼きドーナツの期間限定はダブルチョココレートです。しっとりした食感でチョコチップもたっぷり練り込んで焼き上げています。是

志手原事業所では、製菓注文を随時受け付けております。お気軽にご連絡ご注文下さい。

私たち女子で生産しています。

ご注文お待ちしております。



マドレーヌを作っている利用者



4種類の焼ドーナツ



ココナッツクッキー

保護者会からの支援

秋祭りが中止になった代わりに、10月21日の給食で少しでも祭りらしくなるよう焼きそばや唐揚げで雰囲気味わっていただくと共に、保護者会より豪華なゼリーを提供していただくことになりました。みんなで味わっていただきたいと思います。

来年こそは全体で秋祭りができるといいですね。



提供いただいたゼリー

これからの予定

12月 クリスマス会

※新型コロナウイルス感染状況により変更する場合があります。

わくわく通信

発行 社会福祉法人 風
障害福祉サービス (多機能型)
三田わくわく村

〒669-1515 三田市大原 1546-5
(TEL)079-564-0909
(FAX)079-564-8500
(e-mail) sanda.wakuwakumura@giga.ocn.ne.jp
(Hp アドレス) <http://sandawakuwakumura.com/>



志手原校区地域づくり協議会が上野台中学校生徒会と一緒に取り組んでいる、アサギマダラが飛びかう郷づくりに向けて、アサギマダラが好むフジバカマを地域に広めています。

三田わくわく村大原事業所では、玄関横のスペースに植えたフジバカマが満開となり、甘い蜜の香りを漂わせています。

この蜜を求めてアサギマダラが数匹わくわく村を訪問し、利用者さんを和ませてくれています。アサギマダラの飛来も10月上旬まで、温かい南西諸島に向けて長い旅に出発します。



三田わくわく村大原事業所 玄関横のフジバカマとアサギマダラ



放課後等デイサービスの利用者とフジバカマにとまったアサギマダラ

●アサギマダラ ⇒ 夏から秋にかけて台湾や南西諸島から渡ってくる、前羽の長さは5~6cmほど。羽の内側が白っぽく、黒い羽脈が走る。この白っぽい部分は厳密には半透明の水色で、鱗粉が少ない。アサギ色(青緑色)をした大型の蝶。遠くからどのように渡ってくるのかまだ判明されていない。

●フジバカマ ⇒ 秋の七草の一つに数えられ、花の色が藤色を帯び、花卉の形が袴のようであることから、「藤袴」の名が生まれたと言われる。私たちの地域では自生を見かけるが、準絶滅危惧種になっている。葉は桜餅のような香りがあり、匂い袋や漢方薬としても利用されている。

風 後援会からご入会のお願い

社会福祉法人風後援会は、知的障害者の自立と三田わくわく村の発展を願って平成7年に発足し、寄付活動や理解啓発活動を進めています。

毎年皆様のご入会(ご寄付)により、送迎車両の購入や雨よけ上屋の整備など、利用者の皆さんの活動環境整備を進めています。

今後、一層活動の輪が広がりますよう本会の趣旨にご賛同いただき、ご入会賜りますようよろしくお願い申し上げます。また、事業所等のみなさん方にもご支援いただきたく賛助会員の入会をお願いしています。

個人年会費 1口 1,000円
事業所等賛助会費 1口 3,000円 振込先は下表のとおりです

金融機関	支店名	口座番号
ゆうちょ銀行		01110-3-66308
三井住友銀行	三田支店(店番391)	普通 3808145
三井住友銀行	ウッディタウン出張所(店番395)	普通 3120072

名義は全て『社会福祉法人風後援会』です

【お問い合わせ】
「風」後援会事務局 三田わくわく村大原事業所内
〒669-1515 三田市大原梅ノ木 1546-5

☎079-564-0909

職員研修を終えて

◆強度行動障害支援者養成研修

6/17~18日間、強度行動障害支援者養成研修を受講いたしました。行動障害において、表出している課題となっている行動のみに焦点を当てるのではなく、見えない部分も見ること、強度行動障害者の全体像を正確に把握することができ、正しい利用者理解をすることができるのだと感じました。ご本人の特性と環境・状況等の部分にも焦点を当て整理することで、特性と環境のミスマッチを是正することができ、適切な支援に繋げることができます。



オカバック(緩衝材)の袋詰め作業



ろうそく箱詰め作業

強度行動障害者の価値観に近づくことができ、少しでも生活しづらさを軽減させることができるような支援を心掛けたいと思いました。

大原事業所 生活介護リーダー
家次 寛治

◆~「こどもまんなか社会を目指し今求められること」~

少子高齢化や労働人口の減少に伴い、将来の日本社会のために、国家戦略として、未来の日本を担う子供を第一に考え、社会の中心に子供政策を捉えて「こどもまんなか社会」の実現に向けて、こども家庭庁が創設されました。子供社会で起きている「少子化・障害児・外国人児童」の問題をどうしていくのが課題で、少子化なのに特別支援学級は増加し教員は不足している現状、また、コロナという困難が世界中にもたらされ、子供を取り巻く環境も複雑になり急速に変化しています。



猪名川



ひまわりの丘公園

今までの、知識を増やして全教科を満遍なく習得させ、得意なこと苦手なことにも全体的に取り組むという教育のあり方から、子供たちが自分でやりたいことを見つけ、自分の価値観で将来どうなりたいのかを決めて、その為に何を学ばばいいのか、将来に向け専門的に深く学んでいく教育が変わっていきます。教員の役割も「教え込むから受け止めて学びを支えるへ」になり、主体的で対話的な深い学び「学びに向かう力・人間性を養う」「生きて働く為の知識や技能の習得」「未知な状況に対応できる思考力・判断力・表現力の育成」を繰り返していき、子供の「幸福感」や「自己肯定感」を重視する教育が変わるということが印象深かったです。其々のスペシャリストを育み、活躍できる社会こそが未来の日本の発展と豊かな社会を生み出すことに繋がります。

障害者支援においても、子供の得意なこと好きなことに焦点を当て伸ばしていき、持っている力や可能性を引き出していくという同じ視点を持ち、日々の支援に取り組んでいきたいです。また、幼児期の支援や保育が学習態度の土台になり、5歳児に焦点を当てている点も印象に残り、障害児支援の重要さをあらためて感じ、教育の学びと福祉の支援が交流し、其々の視点を持ち進めていくことが大事だと分かりました。



ろうそくの箱詰め作業

放課後等デイサービスリーダー
阿部 福美

送迎車両を購入しました

令和4年10月17日(月)、風後援会と兵庫県共同募金会からの助成にて購入した送迎車両の贈呈式を行いました。



後援会長より鍵の贈呈



式次第

既存車両との入れ替えにより、安全かつ快適に送迎を実施することができ、たいへん感謝しております。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。



全員で記念撮影

コロナ禍の日中活動

♡大原事業所♡

新型コロナ感染症第7波が落ち着き始め、9月に外出活動を再開しました。まだまだ感染対策が必要なため屋外での活動を計画し、今回は「宝塚北サービスエリア」で、昼食後のデザートなどを買いしました。



宝塚サービスエリア



アトムの前での記念写真



何にしようかな???

アイスクリームやクレープ、自動販売機での飲み物購入など、それぞれのご希望に沿った体験ができました。まだまだ日中の屋外は日差しがきつく、平日の為か利用客が少なかったため適宜室内で過ごし、シャントリアのある綺麗なトイレも利用しました！外出活動では皆さんいつもと違った表情が見られ、これからは楽しい活動を企画しようと改めて思いました。

♡志手原事業所♡

志手原事業所ではコロナ禍であるためなかなか外出活動など出来ておりませんが、みなさん元気よく過ごし、笑い声がよく飛び交っております。

B型事業所では作業が落ち着き時間があるとみんなウォーキングに出かけて、季節を肌で感じながらリフレッシュを図ると共に体力維持に努めています。



志手原事業所周辺のウォーキング

製菓や内職だけでなく自分で見て感じることを大切に日々を過ごしています。

就労移行では、1名の方が就労継続支援A型の就職が決定しました。おめでとうございます。一緒に過ごす時間が残りわずかですが、たくさんの思い出を作りたいと思います。



就労に向けてのパソコン練習

わくわく村で経験したこと、学んだことを活かして仕事に挑戦していただくと共に今後の人生を楽しく過ごして下さい。本当におめでとうございます。

♡本町事業所♡

本町事業所では新型コロナウイルスの発生状況から、なかなか外出活動を実施することができていない状況であり、感染予防策として事業所内の定期的な椅子や机の除菌や換気等に努めています。



甲子園大学 栄養士の実習生による
食事バランスガイドの研修

そんな中でも利用者のみなさんは、公園清掃や除草作業など日々の日中活動に元気いっぱいに取り組んでいます。



「劇団ちびちよ」による虐待研修

また、甲子園大学の実習生による栄養学や、きいてねっとによる虐待研修など、みんなで学ぶ機会がありました。

外出活動につきましては感染状況や作業状況を踏まえながら、折を見て再開したいと思っています。

♡すすかけ台事業所♡

すすかけ台事業所では、コロナ禍のピークであった8月、外出などの活動に制限がありましたが、状況に見合ったレクリエーション活動を企画し実施しました。

B型事業所では、夏祭りをモチーフとして、縁日等で並ぶ「射的」を再現したレクリエーション活動を実施しました。



射的 うまく当たりました



小柿野外活動センターにて

自立訓練では、飯盒炊飯を主体とした活動を実施しました。雨が気になる中でしたが、自分で準備したお米を最高においしい状態で食することができ、偏食のある方も普段より、たくさん食べていました。



一人ずつごはんを炊きました

新型コロナウイルス感染症の対策を考慮し利用者様の健康を守ることはもちろん、地域への影響も踏まえて、今出来ることを皆で話し合い、すすめていきます。